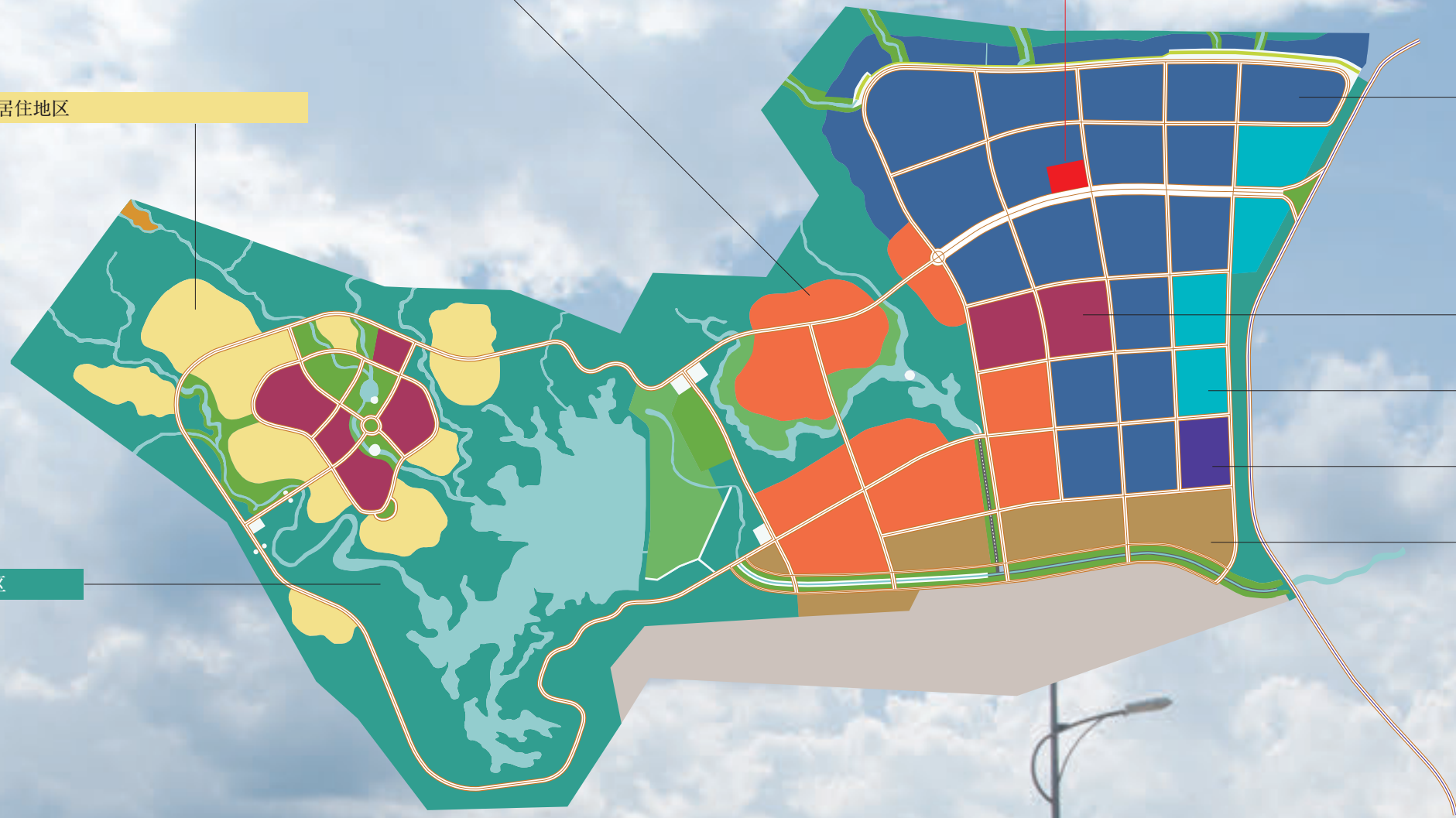


東京計器は、より低価格で高品質な油圧機器を世界中のお客様にお届けするため、2012年10月、ベトナムに生産拠点として現地法人「東京計器プレシジョンテクノロジー」を設立しました。東京計器プレシジョンテクノロジーは、ベトナム中部最大の都市、ダナン市のレンタル工場で生産活動をしてきましたが、この5月に工業団地「ダナンハイテクパーク」に自社工場が完成したことに伴い本格的な操業を開始しました。今号では、この東京計器プレシジョンテクノロジーをご紹介します。

油圧機器の 海外生産拠点 ベトナムで 本格始動

東京計器プレシジョンテクノロジー





アジア地域において目を見張る成長と安定性を成し遂げてきたベトナム経済。その背景には外資導入による工業化を軸とした国を挙げ
ての成長戦略があります。ベトナム政府は工業製品、ハイテク製品の製造業、サービス業を行う企業や投資家を誘致するための具体策
として、工業団地、輸出加工区、経済特区を設けており、その推進に注力しています。ダナンハイテクパークもこうした政策の一環として
立ち上げられた3つの国営ハイテクパークのひとつ。ダナン市の中心部から西へ22キロに位置し、総面積約1,130ヘクタール（東京ドーム

の約240倍）の広大な面積を有したハイテク企業専用の工業団地です。
東京計器プレジジョンテクノロジーはダナンハイテクパークへの進出第一号となりました。周辺は造成工事が進められている段階です
が、ここにはハイテク産業エリアの他にも研究・開発エリア、行政エリア、緑地、公園、スポーツ施設のエリア、さらには居住エリアなどが
計画されており、ハイテク産業とライフスタイルとが融合した未来都市が誕生する予定です。



東京計器プレジジョンテクノロジーが生産するのは主に油圧電磁切換弁です。油圧電磁切換弁とは、油圧装置の始動、停止および運動方向を電磁石（ソレノイド）を用いて電気信号により制御するというもので、工作機械や建設機械、農業機械などで広く使われています。新工場スタート時の月産台数は22,000台ですが、今後は中国、韓国、台湾などのアジア地区に向けて月産31,000台を出荷していく計画です。

現在の従業員数は58名。主要メンバーは当社の佐野工場で油圧機器の生産について長期間の研修を受けたエキスパートで構成されています。「ベトナムの国民性は日本人に似ており、とても勉強熱心で組織の“和”を大切にする精神があります。緻密な作業をこなす器用さも共通しており、日本的な「ものづくり」に向いているように感じます。付加価値の高い量産工場として成長し、お客様にご満足いただける高品質な製品をお届けできるよう努めてまいりますので、どうぞご期待ください。」（東京計器プレジジョンテクノロジー社長 猿橋道夫）